

これまでお寄せいただいた義援金や海外からの救援金による活動に、被災された方々から多くの感謝が寄せられました。これからも、皆さまからの支援をしっかりと生かしていきます。



皆さまからお寄せいただいた「義援金」は、今後も被災された方々に着実にお届けします。

●「義援金」の受付・送付状況のご報告。

【受付】3,718億円
(2014年2月28日現在)

【送金】3,678億円／被災された15都道県へ
(2014年2月28日現在)

【配付】3,573億円／被災された方々へ
(2013年12月31日現在)

■配分対象数は約45万件。1件当たりの配分額は、例えば住家全壊・原発関係避難等の場合には、約116万円となります。お寄せいただいた「義援金」は、手数料などをいたくことなく「全額」が被災都道県に設置された義援金配分委員会を通じて、被災された皆さまに届けられています。

■上記金額には、中央共同募金会受付分を含みます。

海外からお寄せいただいた「海外救援金*」により、これからもさまざまな復興支援事業を実施します。

●実施してきた主な支援事業。

- ・生活再建(生活家電6点セットの寄贈、こころのケア活動、仮設集会所等の建設など)
- ・福祉サービス(市民福祉センターの建設、高齢者向け災害公営住宅の建設など)
- ・教育(屋内遊び場の開催、サマーキャンプの開催、学校備品の整備、子ども園の建設など)
- ・医療(女川町地域医療センター、気仙沼市立本吉病院の再建など)
- ・原発事故対応(内部被ばく検査機器の整備、食品放射能測定器の寄贈など)
- ・防災(防災倉庫の設置など)
- ・その他(ボランティアセンターの備品整備など)

来年度以降も、継続した支援が必要な、子どもたちや高齢者、仮設住宅にお住まいの方などのために、さまざまな支援事業を行ってまいります。



※日本から、かつて支援を受けた途上国を含む海外100の赤十字及びクウェート政府より、約1001億円をお寄せ頂いております。



日本赤十字社は、2014年4月1日以降も引き続き「東日本大震災義援金」の受付を行い、岩手県・宮城県・福島県・茨城県の被災者にお届けします。皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。■受付期間 2014年4月1日～2015年3月31日

人間を救うのは、人間だ。

Our world. Your move.

これまでお寄せいただいた義援金や海外からの救援金による活動に、
被災された方々から多くの感謝が寄せられました。
これからも、皆さまからの支援をしっかりと生かしていきます。



仮設住宅でのコミュニティづくり



福島 高齢者向け共同住宅



サマーキャンプ



宮城 リラクゼーション活動



福島 すまいるばーく



三陸鉄道の車両・駅舎の整備(©三陸鉄道)

皆さまからお寄せいただいた「義援金」は、
今後も被災された方々に着実にお届けします。

●「義援金」の受付・送付状況のご報告。

【受付】3,718億円
(2014年2月28日現在)

【送金】3,678億円／被災された15都道県へ
(2014年2月28日現在)

【配付】3,573億円／被災された方々へ
(2013年12月31日現在)

■配分対象数は約45万件。1件当たりの配分額は、例えば住家全壊・原発関係避難等の場合には、約116万円となります。
お寄せいただいた「義援金」は、手数料などをいただくことなく「全額」が被災都道県に設置された義援金配分委員会を通じて、
被災された皆さんに届けられています。

■上記金額には、中央共同募金会受付分を含みます。

海外からお寄せいただいた「海外救援金*」により、
これからもさまざまな復興支援事業を実施します。

●実施してきた主な支援事業。

- ・生活再建(生活家電6点セットの寄贈、こころのケア活動、仮設集会所等の建設など)
- ・福祉サービス(市民福祉センターの建設、高齢者向け災害公営住宅の建設など)
- ・教育(屋内遊び場の開催、サマーキャンプの開催、学校備品の整備、子ども園の建設など)
- ・医療(女川町地域医療センター、気仙沼市立本吉病院の再建など)
- ・原発事故対応(内部被ばく検査機器の整備、食品放射能測定器の寄贈など)
- ・防災(防災倉庫の設置など)
- ・その他(ボランティアセンターの備品整備など)

来年度以降も、継続した支援が必要な、子どもたちや高齢者、仮設住宅にお住まいの方などのために、
さまざまな支援事業を行ってまいります。

※日本から、かつて支援を受けた途上国を含む海外100の赤十字及びクウェート政府より、約1001億円をお寄せ頂いております。



日本赤十字社は、2014年4月1日以降も引き続き「東日本大震災義援金」の受付を行い、岩手県・宮城県・福島県・茨城県の被災者に
お届けします。皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。■受付期間 2014年4月1日～2015年3月31日

これまでお寄せいただいた義援金や海外からの救援金による活動に、
被災された方々から多くの感謝が寄せられました。
これからも、皆さまからの支援をしっかりと生かしていきます。



皆さまからお寄せいただいた「義援金」は、
今後も被災された方々に着実にお届けします。

●「義援金」の受付・送付状況のご報告。

【受付】3,718億円
(2014年2月28日現在)

【送金】3,678億円／被災された15都道県へ
(2014年2月28日現在)

【配付】3,573億円／被災された方々へ
(2013年12月31日現在)

■配分対象数は約45万件。1件当たりの配分額は、例えば住家全壊・原発関係避難等の場合には、約116万円となります。
お寄せいただいた「義援金」は、手数料などをいただくことなく「全額」が被災都道県に設置された義援金配分委員会を通じて、
被災された皆さんに届けられています。

■上記金額には、中央共同募金会受付分を含みます。

海外からお寄せいただいた「海外救援金*」により、
これからもさまざまな復興支援事業を実施します。

●実施してきた主な支援事業。

- ・生活再建(生活家電6点セットの寄贈、こころのケア活動、仮設集会所等の建設など)
- ・福祉サービス(市民福祉センターの建設、高齢者向け災害公営住宅の建設など)
- ・教育(屋内遊び場の開催、サマーキャンプの開催、学校備品の整備、子ども園の建設など)
- ・医療(女川町地域医療センター、気仙沼市立本吉病院の再建など)
- ・原発事故対応(内部被ばく検査機器の整備、食品放射能測定器の寄贈など)
- ・防災(防災倉庫の設置など)
- ・その他(ボランティアセンターの備品整備など)

来年度以降も、継続した支援が必要な、子どもたちや高齢者、仮設住宅にお住まいの方などのために、
さまざまな支援事業を行ってまいります。

※日本から、かつて支援を受けた途上国を含む海外100の赤十字及びクウェート政府より、約1001億円をお寄せ頂いております。



日本赤十字社は、2014年4月1日以降も引き続き「東日本大震災義援金」の受付を行い、岩手県・宮城県・福島県・茨城県の被災者に
お届けします。皆さまのご支援をよろしくお願い申し上げます。■受付期間 2014年4月1日～2015年3月31日



ありがとう、全世界。
Thank you, world.